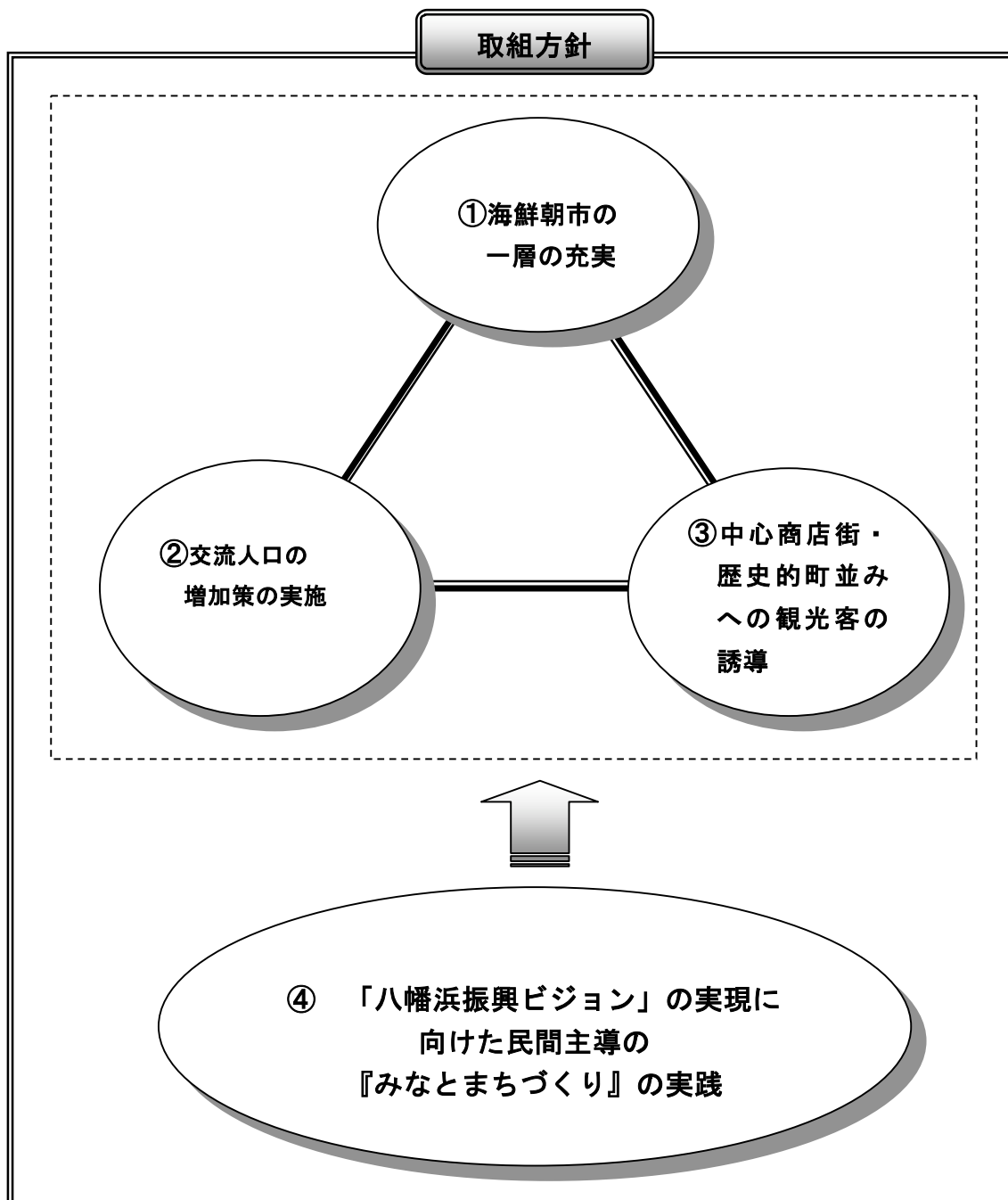


## みなとまちづくりプラン書

### 1. 取組方針

基礎調査を踏まえ、将来の「八幡浜港振興ビジョン」の実現を見据えた、魅力ある『みなとまちづくり』に向けた取組方針を以下に示す。



## 2 具体的な施策

### ① 海鮮朝市の一層の充実

現在、月 1 回実施している海鮮朝市を今後も継続して開催するために、朝市自体の改善を進めるとともに、付加イベントを充実させ、市民と来訪者との交流空間を創出させるための環境づくりを行う。

#### ◇ 各種イベントの継続的開催とその評価体制の構築

- ・今まで行ってきたイベントを定期的にローテーションを構築しながら提供する。
- ・定点観測的にイベントの評価を行い（来場者アンケート等）、その有効性を確認するとともに、新たなニーズを探る。

#### ◇ 交流空間の創出

- ・子供達を対象とした魚の生態の紹介、また、魚の種類や調理方法などを解説したボードの分かりやすい表示を行うほか、八幡浜港に関する情報提供（漁獲高、流通ルート等）を行うなど、“海の街八幡浜ブランド”をつくりあげる手段とする。

#### ◇ 海鮮朝市内の整備

- ・顧客全員が、気持ちよく買い物を行い、楽しめる朝市を構築するために、回遊性、安全性、清潔性に配慮した快適空間を創出する。

トイレ、ゴミ箱の分かりやすい表示の工夫

魚介類預かり場所の設置

海側の空きスペースの有効活用

その場で魚を調理できるスペースの確保（移動自動車等）

### ② 交流人口の増加策の実施

海鮮朝市の来訪者、特に市外客の増加を図るために、効果的な朝市のPRを行うとともに、朝市会場及びフェリー乗り場までの交通アクセスの充実を検討し、交流人口の増加を図る。

#### ◇ 観光魚市場を目指した効果的なPR活動の実践

- ・効果があった松山圏域へのPR活動を継続し、松山圏域の更なる顧客獲得を狙う。
- ・朝市のホームページ上に、市外客の声を載せ、情報発信を行う。

◇ 観光資源との連携

- ・八幡浜近辺（八西地区等）の観光資源と海鮮朝市とをタイアップさせたツアーを企画・実施する。

◇ 交通アクセスの利便性の向上

- ・JR 駅～朝市会場のシャトル・バスの検討
- ・今後、増加するであろう市外客の駐車場問題の対策として、市民への自転車等利用の呼びかけを行う。
- ・JR 駅～フェリー乗り場までのバス路線の開設（主にフェリー利用客用）

③ 中心商店街・歴史的町並みへの観光客の誘導

海鮮朝市会場の充実及び交流人口の増加策で集客した顧客やフェリー利用客を、中心商店街及び歴史的町並みへ誘導できるようなシステムづくりを行う。

◇ 商店街と連携したイベントの継続

- ・バスツアーで行う予定である「朝市で買った魚を市内の料理店で調理し、食事をする」といった企画を行うなど、商店街と連携できるイベントを継続する。

◇ ルートを明示したまちづくりマップの作成

- ・朝市及びフェリー利用者等の観光客はもとより、地域住民も活用できるようなルートを明示した観光マップを作成する。
- ・当該マップに観光・散策に要する時間（所要時間）を明記する。

◇ 分かりやすい誘導システムの整備

- ・はじめて訪れた観光客でも、十分「八幡浜」の魅力を楽しめるように、シンボルロードの整備や観光案内板の設置を行う。
- ・町並みを説明できる場所及び人を配置するとともに、商店街店主についても、地元観光資源の学習の機会を提供し、観光客へ説明できる仕組みづくりを行う。

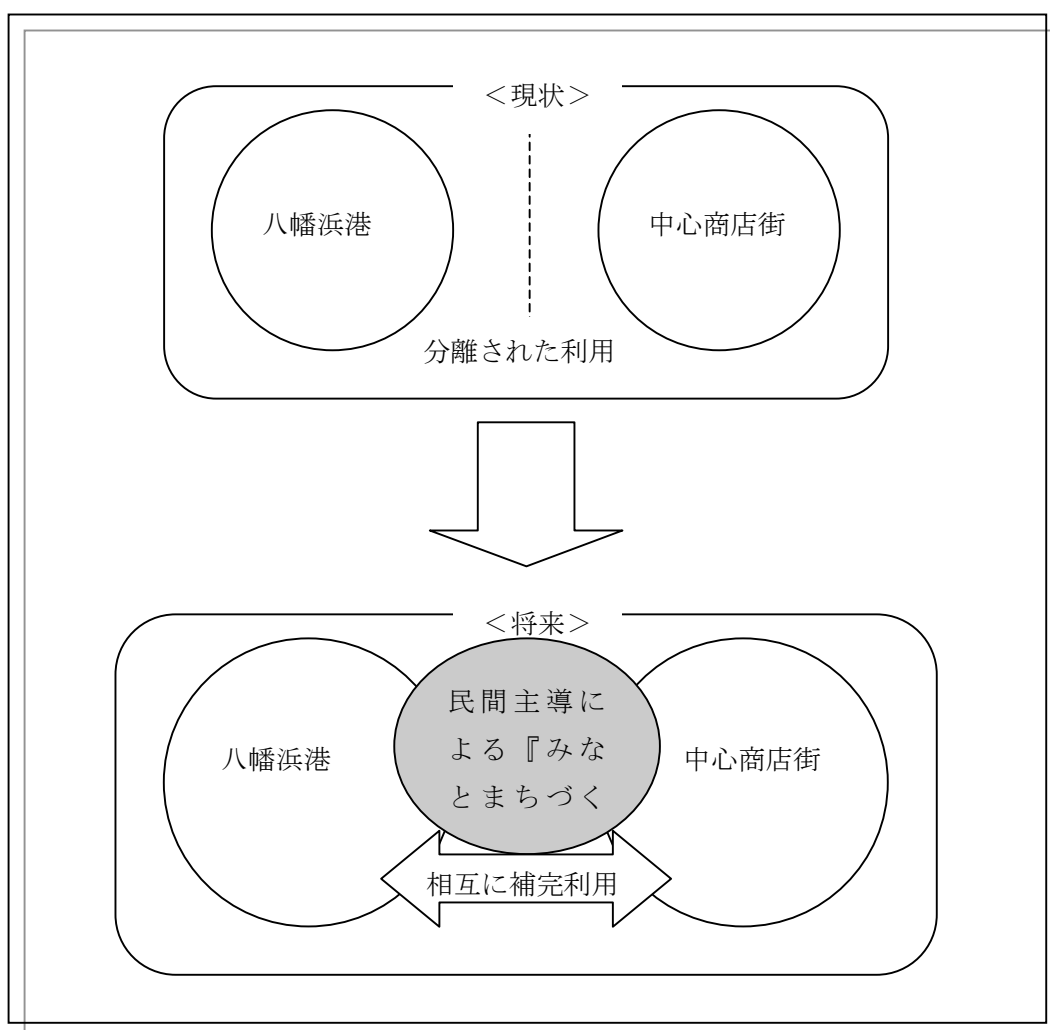
◇ フェリーターミナル内の案内の充実

- ・フェリーターミナル内にまちづくりマップを置き、待ち時間に市内観光を行う環境整備を行う。
- ・海鮮朝市開催時に、フェリーターミナル内にて朝市のインフォメーションを行う。

④ 「八幡浜振興ビジョン」の実現に向けた民間主導の『みなとまちづくり』の実践

- ・将来の「八幡浜港振興ビジョン」の実現を確かなものにするために、民間主導のもと、魅力ある『みなとまちづくり』を目指す。
- ・当面は、市が中心に舵取りを行いながら、現在の啓発活動を継続し、市民の意識の高まりを高揚させながら、主体を市民サイドへ移譲することを目指す。
- ・また、住民参加型の取組を推進し、八幡浜港を地域の活性化の活動拠点地とした上で、「みなとオアシス」制度への申請・登録を目指し、より一層、活動を継続させる。

■ 行政・市民・企業が一体となった『みなとまちづくり』のイメージ図



### 3. アクションプログラム

取組方針	具体的な施策	短期計画	中・長期計画	
海鮮朝市の一層の充実	イベントの継続的開催とその評価体制の構築	効果的なイベントの開催（ローテーションの構築）	○	
		イベントの評価	○	
	交流空間の創出	魚類、八幡浜港のパネルによる表示	○	
	海鮮朝市内の整備	トイレ、ゴミ箱の分かりやすい表示	○	
		魚介類預かり場所の設置	○	
		海側の空きスペースの有効活用	○	
		移動調理自動車の確保	○	
交流人口の増加策の実施	観光魚市場を指した効果的なPR活動の実践	松山圏域へのPR活動の継続	○	
		ホームページ上に、市外客の声を載せる情報発信	○	
	観光資源との連携	観光資源と朝市をタイアップさせたツアーの検討		○
	交通アクセスの利便性の向上	JR駅～朝市会場のシャトル・バスの検討		○
		地元市民へ自転車等利用の呼びかけ(駐車場対策)	○	
		JR駅～フェリー乗り場までのバス路線の開設		○
光客の誘導 中心商店街・歴史的町並みへの観	商店街と連携したイベントの実施		○	
	みなとまちづくりマップの作成（地域住民も活用できるマップ）		○	
	分かりやすい誘導システムの整備	シンボルルートの整備、観光案内版の設置	○	
		商店街店主を中心としたガイドの養成	○	
	フェリーターミナル内の案内の充実	フェリー内にみなとまちづくりマップの配付	○	
		朝市開催時に朝市のインフォメーションの実施	○	

\* 中・長期計画は、『八幡浜港湾振興ビジョン』の実現と同時並行的に実施する。